

# 学習シート 活用編

年	組	番	名前
---	---	---	----

## 生成A I を使いこなそう！



動画はここから  
視聴できます！

生成A I を活用するときの大切なルールを3つ紹介します。

### ルール1 自身の能力を向上させるために利用しよう

新しい視点を得たり、学びをより深めたり自分の力を高めるために使いましょう。

### ルール2 生成A I を知り、適切に使いこなす力を身に付けよう

生成A I は間違った情報を出すことがあるなど、理解したうえで使うようにしましょう。

### ルール3 社会のルールを守り、他者の権利を尊重して利用しよう

他の人が作ったものを勝手に使わないなど、**社会のルールを守り、みんなの権利を尊重**して使いましょう。

※「都立学校生成A I 利活用ガイドライン Ver.1.0」より

生成A I は、例えば、このような場面で活用できます。

文化祭で行うイベントをより良くするためにアイデアを出してほしいとき

調べ学習で「まとめるときに必要な視点は他にありますか？」など、足りない視点を指摘してほしいとき

ルールを守って、様々な場面で活用していきましょう！

## 生成A I に指示をするときのポイント

生成A I に対して出す指示のことを **A**  といいます。その内容によって生成A I が作るものに違いが出ます。プロンプトを作るポイントはいくつありますが、ここでは3つ紹介します。

### ポイント1

何のためか、

**B**

を明確にする

### ポイント2

誰に向けてなのか、

**C**

を入れる

### ポイント3

どのように出してほしいか、

具体的な **D**

を入れる

### 【プロンプト例】

**ポイント1** 学級新聞の7月号に載せるテーマを考えています。

「学習計画」や「進路」などのテーマは考えたのですが、共感されやすい、他のアイデアが欲しいです。

**ポイント2** 高校1年生向けに、

**ポイント3** 5つ挙げてください。1アイデア1文で簡潔にまとめてください。

# 学習シート 活用編

年	組	番	名前
---	---	---	----



下のプロンプト例は、3つのポイントを意識できているでしょうか。(1)～(3)の文が、どのポイントに当てはまるかを考えて、確認コーナーの□に(1)・(2)・(3)のどれかを書きましょう。

## プロンプト例

- (1) 中学2年生向けに回答してください。
- (2) 修学旅行のグループで、午後3時間の自由行動の行き先に悩んでいます。午前中に清水寺へ行く予定なので、その近くで歴史を学べる場所を知りたいです。
- (3) 行き先の候補を5か所挙げてください。

## 確認コーナー

目的

対象

出力形式



生成AIを何に使ってみたいか考えて、3つのポイントを意識しながら、プロンプトを書いてみましょう。

**目的** (何に使うか・知りたいかなどを具体的に書こう)

**対象** (どのような人を対象として出力してほしいかを明確にしよう)

**出力形式** (「3つ挙げて」「100文字以内にまとめて」など、どのように出力してほしいかを具体的に示そう)

## トライアルツールを使おう

どのような場面で生成AIを活用できるか、また、どのようなプロンプトだとイメージに近い回答を得ることができるかを体験しましょう。

活用編のトライアルツールは  
ここから取り組めます！



# スマホくんからの挑戦状 活用編

ヒントを基にクロスワードを完成させてください。「よ」や「ゆ」などの小さな文字は、そのまま小さい文字で書きましょう。A～Cに当てはまる文字を導き出して、スマホくんからのメッセージを完成させましょう。

## ヒント 1

「入力」の反対の意味の言葉。生成AIが回答を〇〇〇〇〇〇する。

## ヒント 2

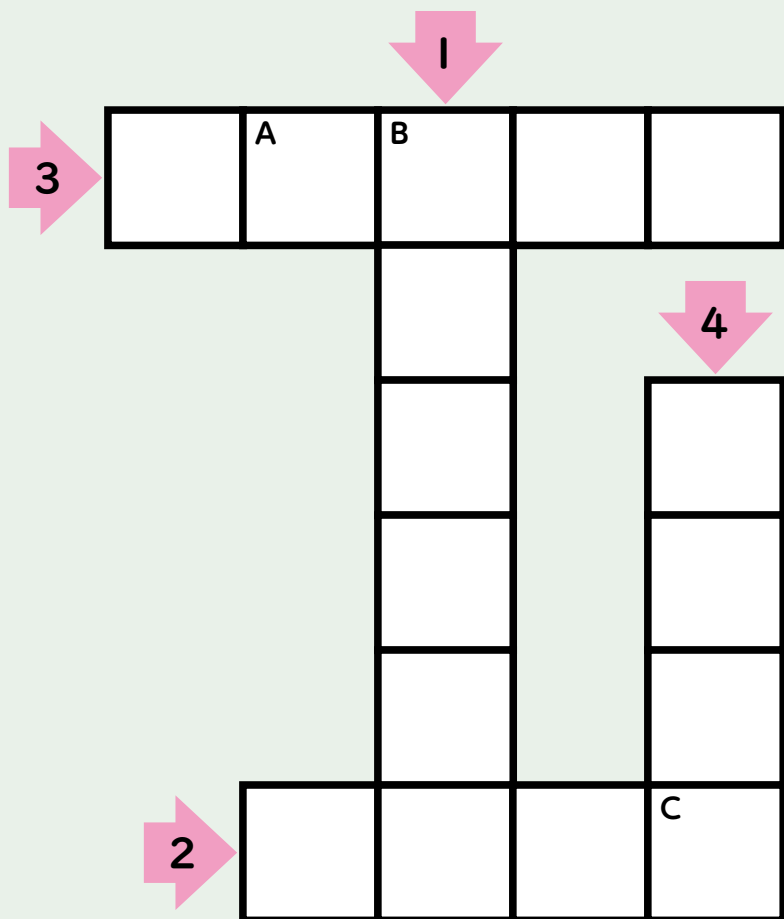
プロンプトを作るポイントの一つ。「文化祭で使うため」「テスト勉強のため」など、具体的な〇〇〇を入れる。

## ヒント 3

プロンプトを作るポイントの一つ。「中学生向けに」「詳しくない人でも分かるように」など、具体的な〇〇〇〇〇〇を入れる。

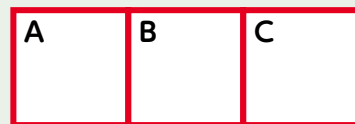
## ヒント 4

プロンプトを作るポイントの一つ。「5つ挙げて」「30文字で書いて」など、具体的な出力〇〇〇〇〇を入れる。



## スマホくんからのメッセージ

生成AIを活用するときは、ルールやポイントを



しょう！

## 解説

### 1の答え 出力

生成AIが回答を出すことを出力といいます。出力された情報は必ず確認するようにしましょう。

### 2の答え 目的

プロンプトを作るときは、目的を具体的に示すことで、イメージに近い回答を得ることができます。

### 3の答え 対象

プロンプトを作るときは、対象を明確にすることで、イメージに近い回答を得ることができます。

### 4の答え 形式

プロンプトを作るときは、どのような形式での回答を求めのかを示すことで、イメージに近い回答を得ることができます。

復習はここをチェック

活用編動画・学習シート「生成AIを使いこなそう！」

スマホくんからのメッセージ  
：い・し・き